

令和8年度 エルモ上水内 事業計画書

1 今年度の目標

・とんどや湯来ふれあいまつり等の活動を継続して実施することで、地域住民の交流促進や地域の絆づくりにつなげ、コミュニティの活性化を図る。
・サロンや敬老会の内容を拡充することで、高齢者がいきいきと楽しんで暮らせる環境を創出する。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	防災力強化事業	(13)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年5月30日	
(2) 実施場所	広島市湯来西公民館	
(3) 参加者数	18人（見込み）	
(4) 主催団体	上水内地区町内会連合会、エルモ上水内、	
4 取組内容	上水内地区内の各地区防災担当者による会議や勉強会、情報交換会を行う。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・ 災害時の避難に課題がある（避難手段、避難場所）が、小学校区での連絡・連携体制が取れていないため、防災担当者会議を開催して担当者間の交流を図り、情報交換と防災意識の向上を図る。 ・ 小学校区での防災情報の連絡・連携体制を構築し、災害時の避難行動を住民に周知して、防災意識を向上させる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 町内会連合会が中心となり、防災担当者間の交流を図りながら情報交換を行うことで地域全体の防災意識の向上を図り、避難行動や災害時の対応が、迅速にできるようにする。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	街カフェ（サロン）	(13) 事業中 (2) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年6月24日 ～ 令和9年3月27日	
(2) 実施場所	旧広島市立湯来西小学校	
(3) 参加者数	150人（見込み）（各30人×5回）	
(4) 主催団体	エルモ上水内	
4 取組内容	様々なサロンを開催し、地域住民間の交流を図る。 （開催月）5回／年。6月、7月、8月、9月、3月 （具体例）茶会、体操、カラオケ、グランドゴルフ	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 過疎と高齢化が進み、単身世帯が増加する中で、高齢者同時や多世代間で交流する機会が少ないため、サロンの内容の拡充を図ることで住民同士が交流しながら、住み慣れた地域で、楽しんで過ごせる場所や機会を創出し、地域住民間の交流を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 高齢者等への憩いの場の提供を通じて、住民同士の新たな交流や生きがいの創出を図り、地域住民の日常生活を充実させる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	こんにゃくづくりを通じた交流事業	(13) 事業中 (3) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域住民の生活支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年6月13日 ～ 令和8年12月19日	
(2) 実施場所	田布地区の休耕田及び旧広島市立湯来西小学校	
(3) 参加者数	100人（見込み）	
(4) 主催団体	エルモ上水内	
4 取組内容	昔からの地域の特産品であるこんにゃく芋を栽培、収穫し、調理してみんなで食べる。 （スケジュール）種芋の植え付け 6/13、6/27 こんにゃく芋の収穫 10/31 こんにゃくの調理 12/19	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・ 高齢化の進展等により休耕田が増加しているが、活用ができておらず、休耕田の放置は景観悪化や有害鳥獣による被害増加の原因にもなることから、継続してこんにゃく芋を栽培することで、休耕田の活用を行う。 ・ 住民同士（特に高齢者）で交流する機会が少なくなっているため、こんにゃく作りを通じた交流を行い、地域コミュニティの活性化を促進する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・ 地域住民（特に高齢者）が交流する機会が増える。 ・ こんにゃくを作って食べる楽しさを味わえることで、楽しみや生きがいづくりにつながるのと同時に、休耕田の有効活用ができる。 ・ 湯来のこんにゃくは広島市のふるさと納税の返礼品にも指定されており、事業を継続することで、将来的には、当地区でこんにゃくづくりをする人が増え、特産品の生産・開発や、地域のにぎわいづくりにつながる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	一斉清掃	(13) 事業中 (4) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(7) 地域の生活環境の整備又は美化に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年6月 ～ 令和8年11月	
(2) 実施場所	上水内地区全町内会（18町内会）	
(3) 参加者数	500人（見込み）（250人×2回）	
(4) 主催団体	上水内地区町内会連合会、エルモ上水内	
4 取組内容		
年2回（6月、11月）町内の一斉清掃を実施する（環境衛生推進協議会行事）		
5 目的・効果		
(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・ ゴミのポイ捨て等が散見されるため、一斉清掃を実施し、地区内の環境美化、住民の環境意識の向上を図る。 ・ 昨年度は参加率が4町内会（22%）と少なかったため、実施されていない町内会へ参加を呼びかけ、一斉清掃の参加率向上を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・ 住民同士の交流と環境美化意識の向上につながる。 ・ 美化活動により、ポイ捨て等の抑止効果につながる。		

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	サロン活動充実事業	(13) 事業中 (5) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	各地区サロン（5か所）	
(3) 参加者数	480人（見込み）（10人／回×4回／月×12月）	
(4) 主催団体	湯来地区社会福祉協議会、志井町内会、中多田町内会、打尾谷町内会、菅沢町内会、石ヶ原町内会、エルモ上水内	
4 取組内容	・ 地域内に百歳体操を行っているサロンが5か所あり（中多田地区、菅沢地区、打尾谷地区、志井地区、石ヶ原地区）、毎週活動している。 ・ 活動を行っている町内会に対して、サロン活動の充実を目的として補助金の助成を行う。 ※町内会会員に限らず参加可能。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・ 地域が広く、高齢になると近隣の人でも会いに行くには距離があることから、高齢者同士が交流する機会の創出を目的としてサロンを開催し、高齢化が進んでいる地域の活性化を目指す。 ・ 各町内会が開催しているサロン活動がマンネリ化しているため、活動を行っている町内会に対してエルモ上水内から助成を行い、サロン活動の活性化を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・ 高齢者同士が交流する機会となり、楽しみや生きがいを持って、いきいきと安心して暮らすことができるようになる。 ・ サロンへ講師等を派遣して活動に変化を持たせ、マンネリ化を打破することにより、参加者の楽しみが増えるとともに、参加者の増加につながる。	

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	第 19 回湯来ふれあいまつり	(13) 事業中 (6) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 9 月 26 日	
(2) 実施場所	広島市湯来西公民館	
(3) 参加者数	300 人 (見込み)	
(4) 主催団体	湯来ふれあいまつり実行委員会、広島市湯来西公民館、エルモ上水内	
4 取組内容	・ 湯来町内で活動されている個人、団体の作品展示やステージ発表 ・ 湯来町内の学校による展示や演奏、神楽団による神楽公演 ・ 地域住民によるバザー (野菜や飲食物の販売) ・ エルモ上水内の PR	
5 目的・効果	(1) 目的 (どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 地域住民の高齢化等により、地域行事の回数が少なくなり、住民同士の交流の機会が減少している。また、地域が広いため、上水内地区全体を対象とした行事自体が少なく、多世代で交流する機会が少ない。特に、高齢者は、地域の子ども世代と交流する機会が少なくなっている。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) ・ 湯来町内の園児、児童生徒等による作品展示や演奏、地域ゆかりの神楽団の公演を行うことで、文化芸術の振興と活性化、地域の学校への親しみや地域愛を醸成するとともに多世代交流の活性化につなげる。 ・ 湯来町 (特に上水内・水内地区) を対象とした行事に、エルモ上水内として連携して実施することで、上水内地区の子どもから高齢者までより多くの住民が参加し、多世代が交流する機会を創出し、コミュニティの活性化につなげる。 ・ 地域住民が多く集まるまつりの中でエルモ上水内の活動を広報し、エルモ上水内の認知度向上につなげる。	

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	上水内地区敬老会	(12) 事業中 (7) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 9 月 1 3 日	
(2) 実施場所	広島市湯来西公民館	
(3) 参加者数	2 0 0 人 (見込み)	
(4) 主催団体	上水内地区町内会連合会、湯来地区社会福祉協議会、湯来・砂谷地域包括支援センター、広島市湯来西公民館、エルモ上水内、広島市佐伯区湯来地区民生委員児童委員協議会	
4 取組内容		
・ 芸能鑑賞 (神楽、歌謡ショー) ・ 交流会 ・ 移動用バス借り上げによる、往復送迎の支援		
5 目的・効果		
(1) 目的 (どうして実施するのか。実施する背景は何か。) ・ 地域内の高齢化は進み、高齢者同士が交流する機会が減少している。また、高齢者の単身世帯も増加しており、日頃から人と関わる機会が少なくなっている。 ・ 以前は各町内会で敬老会を実施していたが、地域住民の高齢化による担い手不足や予算不足により実施できていなかった。 ・ 敬老会開催日を早期 P R することで、昨年度は参加者が約 1 0 名増加したことから、今年度も引き続き開催日の早期 P R を行い、参加者の増加につなげる。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) ・ 湯来町ゆかりの神楽団の公演を参加者みんなで鑑賞することで、楽しみを共有するとともに、地域愛の醸成を図ることができる。 ・ これまで各町内会で実施していた敬老会を上水内地区全体で実施し、行事を集約化・効率化することで、担い手不足の改善につなげる。 ・ 移動用バスを借り上げ、移動手段を確保することで、より多くの高齢者の参加が可能になり、交流の機会を創出できる。 ・ 会の中でエルモ上水内の周知をすることで、LMO について知っていただき、上水内地区のコミュニティ活性化の機運を高めたり、協力者を増やすことにつなげる。さらに、いきいきサロン等への参加や街カフェ等で呼び掛けることで、日頃からの継続した交流の機会づくりをし、地域の高齢者が地域住民と交流しながら、いきいきと楽しく、安心して暮らすことができるようになる。		

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	上多田ウォーク	(13) 事業中 (8) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年11月3日	
(2) 実施場所	上多田地区	
(3) 参加者数	100人（見込み）	
(4) 主催団体	上多田ウォーク実行委員会、広島市湯来西公民館、エルモ上水内	
4 取組内容	・ みどり会館を出発と終点にした約6キロメートルのコースを散策 ・ 道中の風景、民話、伝説などを視聴 ・ 昼食をしながら歓談	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・ 参加者の健康増進、多世代交流の場として好評のため、本事業を継続して行う。 ・ 加下峡の自然を楽しみ、野草や薬草の知識を得るとともに、地域に伝わる民話、歴史を知ること、参加される多くの方に地域の魅力を知ってもらい、転出者の帰省や、地区外からの移住者の増加につなげる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・ ウォーキング効果により参加者の健康づくりにつながる。 ・ 地域の自然を満喫できて、身近にある野草や薬草を知ることができる。 ・ 地域外からの参加者の満足度も高く、リピーターも多いため、参加者に地域の魅力を知ってもらい、地域外からの移住や、転出者の出戻りを促す機会になる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	とんど	(13) 事業中 (9) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年1月中旬頃	
(2) 実施場所	上多田、中多田、菅沢、打尾谷（4か所）	
(3) 参加者数	200人（見込み）	
(4) 主催団体	上多田町内会、中多田町内会、菅沢町内会、打尾谷町内会、広島市湯来西公民館、エルモ上水内	
4 取組内容	・ 伝統行事「とんど」の実施 ・ 備品、飲食（ぜんざい、甘酒、バーベキュー等）の助成	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・ 上水内地区では、伝統的にとんどが毎年実施されているが、過疎化や担い手不足が進み、現在では4地区で実施されるのみとなっており、地域のにぎわいや活力の低下が懸念される。 ・ 山に囲まれた上水内地区では、竹林の放置は景観を損なうため、竹を切るにより景観の保全を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・ 失われつつある伝統行事の継続ができる。 ・ 地区外にいる子や孫が帰省し、古里の良さを実感し、地域も盛り上がる。多くの方に参加してもらうことで、伝統行事の魅力について再確認してもらい、地域愛の醸成、コミュニティの活性化を図る。 ・ とんど使用の竹伐採は、定期的な竹林の整備を通じた、景観保護につながる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	湯来あかりライトアップ事業	(13) 事業中 (10) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年11月 ～ 令和9年3月	
(2) 実施場所	湯来温泉街	
(3) 参加者数	1,000人(見込み)	
(4) 主催団体	湯来あかり実行委員会、湯来温泉観光商工同業組合、エルモ上水内	
4 取組内容	・ 灯が消えた湯来温泉街に竹ひごで作成した、鞠灯籠を設置する ・ 備品や電気代、飲料の助成	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・ 湯来温泉街を訪れる観光客が減少しており、地域の活気が失われていることから、竹灯籠を設置して綺麗になった景観をアピールすることにより、湯来温泉街を訪れる観光客の増加を図る。 ・ 地域活性化の取組を、地域住民が一体となり楽しみながら行うことで、地域住民間の交流の活性化を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 綺麗になった景観をアピールし、多くの人の注目を集めることで、湯来温泉を訪れる観光客の増加につなげる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	夏祭り（盆踊り）	(13) 事業中(11) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年8月	
(2) 実施場所	上多田町内会、中多田町内会、菅沢町内会、打尾谷町内会	
(3) 参加者数	200人（見込み）	
(4) 主催団体	上多田町内会、中多田町内会、菅沢町内会、打尾谷町内会、エルモ上水内	
4 取組内容	・ 夏祭りを開催し、盆踊りを行う。 ・ 地域住民による夜店の出店、抽選会の開催 ・ 地域出身者への帰省の呼びかけ実施	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・ 地域の伝統行事である盆踊りが長年開催できず、若い世代への伝統行事の継承が途絶えようとしているため、盆踊りの経験者を迎えて太鼓や音頭を学ぶことにより、地域の伝統行事の維持、継承を図る。 ・ 老若男女問わず地域住民が参加でき楽しめる祭りを開催することで、多世代間の交流促進を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 地域の伝統行事を維持、継承するため、年配者の指導を受けることにより、多世代間の交流の輪を広げることにつなげる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	湯来温泉街の清掃活動	(13) 事業中 (12) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(7) 地域の生活環境の整備又は美化に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月 ～ 令和8年11月	
(2) 実施場所	湯来温泉街	
(3) 参加者数	100人（見込み）	
(4) 主催団体	湯来温泉観光商工同業組合、エルモ上水内	
4 取組内容	- 湯来温泉観光商工同業組合の事業計画により温泉街の清掃作業を実施する。 （実施月）5回／年 4月、6月、7月、10月、11月 - 備品、飲料の助成	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 相次ぐ旅館の閉鎖により、組合員が減少していることから、温泉街の清掃が満足に行えず、維持管理にも支障が出ているため、地域住民で清掃活動を行うことにより、湯来温泉街の環境美化を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 清掃活動を行い、湯来温泉街を訪れる観光客の満足度を向上させることにより、再訪客の増加につなげる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	湯来平和への集い	(13) 事業中 (13) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年8月6日	
(2) 実施場所	広島市湯来福祉会館 サンピアゆき	
(3) 参加者数	100人（見込み）	
(4) 主催団体	湯来平和への集い実行委員会（仮称）、エルモ上水内、みのちエルモ	
4 取組内容	- 湯来平和への集い（被爆者慰霊式）の開催 - 小中学生による平和の集いを行う。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 湯来原爆被害者の会の解散により湯来被爆者慰霊式の開催が不可能となったため、湯来平和への集い実行委員会を立ち上げ、被爆者慰霊式を継続することにより、参加する小中学生の平和教育の維持、被爆体験の継承を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） - 小中学校の平和教育の一環として、定着、継続していた被爆者慰霊式が途切れることを防ぐことができる。 - 被爆者の高齢化に伴い、被爆体験の継承が困難となりつつあるため、事業を通じて被爆体験を2世、3世へ引き継ぐことができる。	

3 自主財源で実施する事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	取組内容
	特になし		